



草津中通信

令和3年12月6日(月)
草津町立草津中学校 No.16

教育目標 心豊かで、高い知性をもつ、健康な生徒の育成

人権落語(12/1)



草津中学校では、草津温泉らくご事務局の皆様にご尽力いただき、昨年度から人権週間のなかで落語を聴かせていただく機会を設けています。ときには声を出して笑う、ときにはしんみりと聴く中学生の心は、そういった動きの中で癒やされていくことなのでしょう。人情の機微に触れるには、二次元よりもやはりリアルタイム・三次元のほうが効果ありを改めて実感した時間でした。

立川吉幸さん 春雨や風子さん カントリーズさん たくさんの感動をありがとうございました。落語を聴きながら、その状況をイメージするのは想像力を養うことにつながります。そして、想像力は国語はもちろん、外国語を学習するときにも役に立つことなのでしょう。もちろん、相手の状況を想像する力を養うことは、人を思いやる心情を育むことにもなると期待しています。

人権・福祉講演会(11/26) 草津町社会福祉協議会事業～「命の大切さ」東日本大震災から学んだこと～

講師 伊東毅浩先生(宮城県気仙沼市立南瀬中学校)

福祉と書いて「たすけあい」、人権と書いて「おもいやり」とふりがなをふってもよいのではとの伊東先生でしたが、生徒の中には人権のふりがなを「あい」とふってはどうかという意見もありました。東日本大震災後、実際に避難所の運営にあたった伊東先生のお話は、活字や画像で見る資料よりも、直接語りかけていただいた分、生徒の人権や福祉に関する意識をより刺激していたように感じました。

10年前の3月11日は、中3はまだ5歳でした。何かのきっかけで震災があったことを後世に語り継ぐことは、亡くなった方々に対する鎮魂になるとともに、命の大切さを考えることにもなるでしょう。



歯と口の健康啓発 標語コンクール・ポスターコンクール

3年 齋藤英美里(標語の部) 2年 廣上和花(ポスターの部)

新入大会の代替試合等 各部で開催(R4春季大会のシード権等をかけて)

吾妻郡中学生野球強化練習大会(吾妻リーグ) 準優勝 (六合、中之条との合同チーム編成)

郡シード決定戦 女子 田村和佳子 優勝 山口祐香 準優勝

第32回北毛地区卓球大会 中学生男子 第3位 佐藤聖真 第3位 佐藤蒼真

小学校の校長先生からお礼の電話が



小学校の丸山先生から「クロカン部の生徒が来て小学校の板の整備してくれた。ありがとう!」と連絡がありました。

廃品回収お世話になりました(11/20) ～お金は天から降ってくるものでないことを実感した中学生～



地域の皆様、保護者の皆様方のご協力をいただいて、無事終わることができました。ありがとうございました。収益は生徒会活動の資金にいたします。

社会を明るくする運動 作文(吾妻保護司会長賞受賞・県優秀賞エフエム群馬社長賞受賞)



題名「相談」山口祐香

吹奏楽アンサンブルコンテスト(11/27)銅賞受賞(A・B)



草津中からは
A 管楽八重奏
B 金管四重奏
の2チームが出場しました。

中之条税務署関係団体連絡協議会長賞を受賞 題名「私たちの身近にある税金」山本萌亜名

鬼と共存した人々(草津昔話から)

草津町内には「鬼の相撲場」と呼ばれる場所があり、現在では公園として整備されています。江戸時代には大衆作家の十返舎一九が草津に来訪した際に、「上州草津温泉往来」でこう書き残しています。

「天狗山微雨の夜、山上に火を燃すことその数おびただし

鬼の角力場、土俵の形おのずから石ならびてその名となる」

『むかし むかしのことですが、石古根山あたりには鬼が住んでいたそうです。相撲をとることと、人間に悪さをするのが大好きだった鬼達。そこが手狭になったのでお地蔵さんに頼んで西の河原を借りて相撲をとりはじめたのでした。借りるときのお地蔵さんとの約束は【人に危害を加えないで、仲良くする。】だったので、最初は怖いもの見たさで鬼の相撲を観ていた人たちも、次第にひいきの鬼を応援するなどして、鬼と人が仲良く過ごしましたとき。』という昔話が残っています。ところでこの「鬼」、実はみなさんの心の中にもいるのです。いろいろな事情が重なり、見方や考え方がゆがんでしまい、「どうせ自分なんか、周りは全部敵かも、100点じゃなきゃ認めない…」などという心中の鬼は、誰にもごく自然に生まれてきます。鬼とは誰の心の中にある弱い部分のことなのです。それを認めないのではなく、認知し、理解した上で自らコントロールしていく力が、これからはますます求められる時代になっていくことでしょう。相撲場で応援をしていた人は、それができていたから鬼と仲良くできたのかもしれない。



県医師会から二名の先生がいらつしやいました。

～人権週間中の朝礼から抜粋～

12/2 へき地診療(眼科・耳鼻科)